

2026 年度

大 学 院 経 営 学 研 究 科

ビジネス・イノベーション専攻

(博士後期課程)

学 生 募 集 要 項

(第一次・第二次)

城 西 大 学

〒350-0295 埼玉県坂戸市けやき台 1-1

電話 049-271-7711 (入試課)

入学試験における感染症等への対応について

本学の入学試験では試験当日、学校保健安全法で出席停止が定められている感染症に罹患し、治癒していない方は、他の受験生や監督者等への感染のおそれがありますので、受験をご遠慮いただいております。受験をご遠慮いただいた場合でも、入学検定料の返還は行いませんのでご了承ください。

入学試験当日は、安全な受験環境を保持するため監督者がマスクを着用して対応することがあります。試験場にて具合が悪くなった受験生は、試験監督者や受験生係に申し出て、指示に従ってください。

受験生の皆様におかれましては、せっけんを使った手洗い、うがいの励行など感染症に十分注意して受験に臨んでください。

大学院 経営学研究科ビジネス・イノベーション専攻（博士後期課程）

理念

経営学研究科は、建学の精神「学問による人間形成」に基づき、マネジメントに関する高度な専門知識を通して企業、地域社会、国家、そして国際社会に貢献する人材を育成することで、産業や文化の発展に寄与することを理念としています。

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

経営学研究科博士後期課程では、本研究科の理念に共感し、修士課程で培った実践知に根ざす学術研究能力を基盤に、企業、地域社会、国家、そして国際社会の発展を積極的に貢献する人物の養成を行います。そのため、以下の資質・能力もしくは志向を有する人の入学を期待します。

1. 営利・非営利ビジネス分野、または業界横断的な共通ビジネス分野に関する基礎知識を有し、イノベーションに関連する理論と実践を深く探究する意欲を持つ人。
2. イノベーション研究に必要な外国語能力を有し、グローバルかつ学際的な視点から課題を発見・解決する能力を身につけたいと考える人。
3. 講義や研究指導を通じて、社会・経済の発展に寄与するための高度な研究能力と創造力を磨き、現代の課題に挑戦する意欲を持つ人。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

経営学研究科博士後期課程は、建学の精神である「学問による人間形成」に基づいて定められたディプロマ・ポリシーの修学目標を、全ての学生が到達するように、以下の方針でカリキュラムを構築します。

1. ビジネスイノベーションの研究・教育に関して、営利ビジネス分野、非営利ビジネス分野、共通ビジネス分野の3分野に区別して様々な「特殊研究科目」を設定する。3つの分野における各科目では、それぞれ現代におけるイノベティブな変化、その過程で生じる諸問題、それらの解決可能性について議論し、教授する。その評価に関しては、学習過程での形成的評価を適宜行い、各科目の特性に合わせた様々な多様な評価方法を適用して、可否の判定を伴う総括的評価を実施する。
2. 営利ビジネス分野、非営利ビジネス分野、共通ビジネス分野における様々なイノベーションに関する研究論文の作成を指導するために（研究指導科目）を設定する。その評価に関して、研究計画の策定及び研究実施の過程において形成的評価を適宜行い、可否の判定を伴う総括的評価に関しては複数の研究科担当教員が関わる形で、経営学研究科（博士後期課程）が示す基準に基づき、学内外の多様な評価者が関わる形で、学位論文審査及び最終試験（口頭試問）を行う。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

本研究科博士後期課程の所定の単位を修得し、以下の目標を達成した学生の修了を認め、博士（経営学）の学位を授与します。建学の精神「学問による人間形成」に基づき、経営学分野において独創的かつ先駆的な研究を行い、国際的に通用する高度な専門知識と研究能力を備え、‘協創’を通して持続的社会の発展に貢献する人物を育成します。経営学研究科で学んだ学生がこのような人間に成長したことを、以下の資質（・能力を身につけた学生に対し、研究科の学位授与方針に従って修了を認定し、博士（経営学）の学位を授与します。

1. 経営学研究を通じて、経営学の最先端の理論と方法論を深く理解し、それらを用いて複雑な経営現象を分析できる能力を有していること。
2. 経営学研究を通して、他者を尊重し、他者との対話を通して互いの理解を深めるとともに、強い倫理感と社会的責任感のもとに、他者と力を合わせて何かを作り上げていこうとする“協創”力を有していること。
3. 自律した経営学専門家として活動するために必要な専門的知識を有し、組織や社会の新しい問題を発見し、その問題を解決して論文などを通して表現し発表できる能力を有していること。

2026 年度 大学院経営学研究科

ビジネス・イノベーション専攻(博士後期課程)学生募集要項

1. 募集人員

研 究 科	専 攻	募 集 人 員
経営学研究科	ビジネス・イノベーション専攻	3 名

2. 出願資格

下記の資格を有する者としてします。

①修士の学位又は専門職学位を有する者、または 2026 年 3 月取得見込みの者。

②外国において前号と同等以上と認められる課程を修了した者。

③外国において、学校教育における 18 年の課程を修了した者。

④文部科学大臣の指名した者。

⑤4 年制大学卒業後、当該入学者選抜試験年度の前年 3 月 31 日までに常勤として 2 年以上の職業経験を有する者。

⑥研究科において、個別の入学資格審査によって修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めたもので、当該入学者選抜試験年度の前年 3 月 31 日までに 24 歳に達する者。

※⑤、⑥による志願者は、事前に出願資格審査が必要です。本研究科所定の提出書類を締切日までに提出してください。

※身体にある種の疾病、障がい、アレルギー等により、入学試験を受ける際、または修学上特別の配慮を必要とする方は、本学の学習内容（実験・実習含む）や支援体制、施設設備などで対応することが可能か事前に協議するため、入学検定料を払い込む前に入試課にご相談ください。

※事前面談についての注意事項について

受験生は、出願前に希望する指導教授と面談し、承認を得る必要があります。

事前面談の実施期限までに面談を受けていない場合は、直近に実施される試験を受けることはできません。なお、事前面談は年度内に 1 回受けていれば有効です。

【出願資格審査について】

上記出願資格の中で、⑤、⑥により出願する者は、事前に出願資格審査が必要となりますので、必要書類を締切日までに提出してください。

1. 必要書類

(1) 提出書類（英語以外の外国語の書類は日本語訳を添付してください）

- ①出願資格審査申請書（所定用紙）書式は以下 URL から確認すること。
- ②卒業証明書、成績証明書、学位記または学位記に準ずる書類（いずれも原本必須）
※編入学・転入学をしている場合には、以前の大学の成績証明書も提出すること。
※日本国籍の方は学位記のコピーを可とします。ただし、証明書は原本のこと。
- ③大学を卒業した者、修士の学位を有する者と同等以上の学力があることを示す免許、資格、経歴等に関する書類
- ④志望理由書（500 字以内）書式は以下 URL から確認すること。
- ⑤研究計画書（2000 字以内）書式は以下 URL から確認すること。
- ⑥修士論文または修士論文に相当するもの、著書等
- ⑦日本語能力を証明できる「日本語能力試験」または「日本留学試験」の書類（写し可・外国籍の方）

【書式】

本学ホームページ > 学部・大学院 > 大学院入試情報 > 経営学研究科
<https://www.josai.ac.jp/faculty/graduate/>

2. 必要書類の締切日と提出先

- (1) 締切日：一次募集 2025 年 10 月 10 日（金）まで
二次募集 2026 年 1 月 9 日（金）まで

- (2) 提出先：城西大学入試課 〒350-0295 埼玉県坂戸市けやき台 1-1
9:00～11:00、12:30～17:00 まで（窓口提出）

※日本国籍を有する者は、郵送（書留・必着）または窓口での出願ができます。（土・日、祝日は受付不可）

※外国籍の志願者は窓口での受付のみとなります。（土・日、祝日は受付不可）

※年末・年始の事務取扱いについては、お問い合わせください。

3. 出願資格の個別審査

所定の書類により出願資格の有無について個別の資格審査を行います。
ただし、必要に応じて書類の追加提出を求めることや面接を行うことがあります。

4. 結果の通知

結果については、結果通知書を郵送します。

5. 問い合わせ先

城西大学入試課 電話 049-271-7711

3. 出願期間・試験日

区 分	出 願 期 間	試 験 日
一次募集	2025 年 10 月 31 日(金)～11 月 7 日(金)	11 月 22 日(土)
二次募集	2026 年 1 月 30 日(金)～ 2 月 6 日(金)	2 月 21 日(土)

4. 出願書類

入学志願者は下記の書類を提出してください。出願書類に不備のあるものは受理しません。

【出願者全員対象】

- (1) 入 学 志 願 票
- (2) 履 歴 書 本学所定の書類を提出すること（日本国籍者のみ）
- (3) 志 望 理 由 書 2000 字以内で作成し、1 部提出すること。
書式は以下 URL から確認すること。
- (4) 卒業(見込)証明書 学部および大学院に相当する証明書を各 1 通ずつ提出
- (5) 成 績 証 明 書 学部および大学院に相当する証明書を各 1 通ずつ提出
※編入学・転入学をしている場合には、以前の大学の成績証明書も提出すること。
- (6) 研 究 計 画 書 2000 字以内で作成し、希望する指導教員が事前に確認済みであること。
書式は以下 URL から確認すること。
- (7) 修 士 論 文 （ 等 ） 修士論文または修士論文に相当するもの 3 部（写し可）
※修士課程修了見込み者は、修士論文（見込み）の表紙に指導教授のサインまたは印を求める。
- (8) 修士論文（等）要旨 4000 字以内で作成し、3 部提出すること。
書式は以下 URL から確認すること。
- (9) 入 学 検 定 料 35,000 円
(郵便払込みをして「振替払込受付証明書」を必ず志願票の所定欄に貼付のこと)

【外国籍を有する志願者】

- (10) 健康診断証明書 本学指定書類で 12 か月以内のものに限る。
- (11) 外国人留学生調査用紙 本学所定の書類を提出すること。
- (12) 留学の目的 本学所定の書類を提出すること。
- (13) 日本語能力を証明するもの 日本語能力試験（JLPT）または日本留学試験（EJU）の結果を証明できるもの（写し可）
- (14) 在留カード 原本を窓口持参および表裏のコピー
- (15) パスポート 原本を窓口持参および未使用ページを除いた全ページのコピー
- (16) 住民票 原本を窓口に持参すること。3 か月以内のものに限る
- (17) 留学経費支弁書 本学所定のもの

【書式および教員連絡先】

本学ホームページ > 学部・大学院 > 大学院入試情報 > 経営学研究科
<https://www.josai.ac.jp/faculty/graduate/>

本学ホームページ > 城西大学入試情報サイト > 外国人留学生のための出願書類
<https://admission.josai.ac.jp/examination/application/>

5. 出願書類提出先

(1) 場 所 城西大学 入試課 (〒350-0295 埼玉県坂戸市けやき台 1-1)

(2) 時 間 9:00～11:00、12:30～17:00 まで

※日本国籍を有する者は、郵送（書留・必着）または窓口での出願ができます。（土・日、祝日は受付不可）

※外国籍の志願者は窓口での受付のみとなります。（土・日、祝日は受付不可）

※年末・年始の事務取扱いについては、お問い合わせください。

6. 選考方法

試験は埼玉坂戸キャンパスにて行います。

(1) 書類審査

(2) 小論文審査

(3) 面接

7. 試験時間割

11:00～12:00	13:00～
小論文（60分）	面接 主として下記の項目について質問します。 ・修士論文に関すること ・志望理由、今後の研究計画に関すること ・専門分野の知識に関すること

※試験当日は、午前 10 時 30 分までに本学埼玉坂戸キャンパス 23 号館 1 階入試課前に集合してください。

※試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻後 20 分以内の遅刻に限り、受験を認めます。

8. 可否通知発送

区 分	発 送 日
一 次 募 集	2025 年 12 月 1 日(月)
二 次 募 集	2026 年 3 月 2 日(月)

合格者には、合格通知書及び入学手続に関する書類を可否通知発送日に本人宛に速達郵便で発送します。また、研究科試験の選にもれた者にも、その旨を本人宛に通知します。

9. 入学手続

区 分	入 学 手 続 締 切 日
一 次 募 集	2025 年 12 月 15 日(月)
二 次 募 集	2026 年 3 月 16 日(月)

入学手続締切日までに、保証人を定めて所定の納付金と所定の書類を提出してください。
手続を完了しない者は、入学を許可しません。

10. 外国人留学生の在留資格認定証明書や留学査証について

- (1) 合格後に日本への入国を希望する場合は、出入国在留管理庁への在留資格認定証明書の申請手続は本学が代行しますので、本学の指示に従って速やかに準備を進めてください。ただし、在留資格認定証明書の申請内容によっては、出入国在留管理庁の審査の結果、在留資格認定証明書が交付されない場合があります。その場合は、入学の許可を取り消すこともありますので、あらかじめご承知おきください。
- (2) 入学手続終了後、本学より入学許可書および在留資格認定証明書等の必要書類を送付いたしますので、留学査証の交付申請をして来日に必要な各種手続を行ってください。

11. 学費

内 訳 区 分		初年度			2 年次以降 (年額)
		入学手続時	10 月(秋学期分)	合計(年額)	
学 費	入 学 金 (入学申込金)	300,000		300,000	
	授 業 料	275,000	275,000	550,000	毎年同額を納入
	施設設備費	75,000	75,000	150,000	毎年同額を納入
	小 計	650,000	350,000	1,000,000	
諸 会 費	父母後援会費	15,000		15,000	
	共 済 費	9,000		9,000	毎年同額を納入
	小 計	24,000		24,000	
納 付 額		674,000 円	350,000 円	1,024,000 円	

【注1】 本学卒業生は、入学金（入学申込金）の既納付分を免除します。

【注2】 本学卒業生と外国人留学生と社会人は、父母後援会費を免除します。

【入学検定料および学費等納付金の海外送金先】

振込先銀行 Bank Name	三井住友銀行 SUMITOMO MITSUI BANKING CORPORATION
銀行支店 Branch Name	坂戸支店 SAKADOBRANCH
銀行支店住所 Branch Address	〒 350-0234 埼玉県坂戸市緑町 3-1 3-1,MIDORI-CHO,SAKADO-CITY,SAITAMA-PREF, JAPAN
取引銀行コード SWIFT Code	SMBCJPJT
受取人口座番号 Remittee Account Number	058-3249220
受取人 Remittee Name Remittee Address Remittee Phone Number	学校法人城西大学 JOSAIUNIVERSITY 1-1,KEYAKIDAI,SAKADO-CITY,SAITAMA-PREF,JAPAN (経理課)+ 81-49-271-7717
備考欄 Remarks	・「入学検定料」または「入学手続」を記入すること APPLICATION FEE or ENTRANCE REGISTRATION

1 2. 長期履修制度（大学院学則第 18 条 長期にわたる教育課程の履修）

- (1) 長期履修制度とは、職業を有している等の事情により、標準修業年限（3年）で修了することが困難と認められる者に対して、博士後期課程を4年間で計画的に教育課程を履修し、博士の学位取得を可能とする制度です。

(注)：外国人留学生（在留資格が「留学」）は申請することができません。

- (2) 長期履修の期間は、入学時から起算し4年です。休学の期間は含まれません。

(注)：入学後に長期履修期間の短縮は、原則として認めません。適用するかどうかは入学手続時に申請してください。

1 3. 入学辞退について

- (1) 査証発給不許可の理由による入学辞退

入学手続後、査証発給不許可の理由により、入学を辞退する場合は、本学所定の「入学辞退届」・「入学許可書及び「出国拒否通知書(パスポートの証明の写し)」を入試課に提出してください。入学辞退手続書類提出により入学申込金、学費および諸会費を返還します。

- (2) 自己都合による入学辞退

入学手続を行った後に入学を辞退する場合は、本学所定の「入学辞退届」及び「入学許可書」を入試課に提出してください。郵送の場合は、「入学辞退届用宛名ラベル」を使用し、必ず簡易書留で送付してください。

1 4. 学費の返還について

入学手続者で「入学辞退届」及び「入学許可書」を下記の締切日時までに必着で提出した者に対し、入学申込金以外の学費及び諸会費を返還します。

締 切 日 時	返 還 日
2026 年 3 月 31 日（火）16 時	2026 年 4 月 10 日（金）

1 5. 入学後の学費等の納入について

学費は原則、半期ごとに口座振替で納入いただきます。

なお、外国人留学生の場合は、振込用紙で納入いただきます。

入学後に、郵送にてご案内文書をお送りしますのでご確認ください。

1 6. 注意事項

- (1) 提出書類に虚偽の記載または申告などの事実があった場合は、入学許可を取り消します。

- (2) 入学等に関する問い合わせ先

〒350-0295 埼玉県坂戸市けやき台 1-1

城西大学入試課 電話 049-271-7711

17. 経営学研究科・授業科目

【特殊研究】

営利ビジネスグループ

- ビジネスイノベーション特殊研究Ⅰ（企業組織論）
- ビジネスイノベーション特殊研究Ⅱ（人事労務論）
- ビジネスイノベーション特殊研究Ⅲ（経営史）
- ビジネスイノベーション特殊研究Ⅳ（ロジスティクス論）
- ビジネスイノベーション特殊研究Ⅴ（企業経営論）
- ビジネスイノベーション特殊研究Ⅵ（環境経営戦略論）

非営利ビジネスグループ

- ビジネスイノベーション特殊研究Ⅶ（コンプライアンス論）
- ビジネスイノベーション特殊研究Ⅷ（地域マネジメント論）
- ビジネスイノベーション特殊研究Ⅸ（社会保障論）
- ビジネスイノベーション特殊研究Ⅹ（地域経済論）
- ビジネスイノベーション特殊研究ⅩⅠ（アジア経済論）

共通ビジネスグループ

- ビジネスイノベーション特殊研究ⅩⅡ（産業組織論）
- ビジネスイノベーション特殊研究ⅩⅢ（AI・データサイエンス論）
- ビジネスイノベーション特殊研究ⅩⅣ（ジェンダー・スタディーズ）
- ビジネスイノベーション特殊研究ⅩⅤ（健康マネジメント論）

【演習】

研究指導